

# 全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。

平成29年度「全国学力・学習状況調査」の結果が、8月28日に文部科学省から公表されました。また、学校には、学校全体の調査結果や調査対象である3年生の生徒の個人票が送付されました。

本校では、中学校の3年間を見通した一貫した教育の充実が大切であるとの認識のもと、学校における各学年の生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てるとともに、家庭における生徒の生活習慣、学習習慣等の充実につなげるため、調査結果を分析しました。その概要を保護者の皆様にお知らせします。

つきましては、調査結果及び分析結果をご覧いただき、学校の取組に対しまして、引き続き、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。また、1年生から3年生までの全ての生徒の「頑張り」をさらに伸ばし、課題を克服できるように、各家庭での教育の充実につなげていただきますようお願いいたします。

◆調査実施日：平成29年4月18日

◆調査対象：全国の小学校6年生・中学校3年生

◆調査内容 ①教科に関する調査（国語・算数／数学）

・主として**知識**に関する問題（**A問題**）

・主として**活用**に関する問題（**B問題**）

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

・児童生徒に対する調査（学習意欲、学習方法、生活習慣等に関する調査）

・学校に対する調査（指導方法の工夫、教育条件の整備の状況等に関する調査）

◆調査結果の取扱いに関する配慮事項

※平成29年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領（平成28年12月 文部科学省）から抜粋  
調査結果については、調査の目的を達成するため、自らの教育及び教育施策の改善、各児童生徒の全般的な学習状況の改善等につなげることが重要であることに留意し、適切に取り扱うものとする。

調査結果の公表に関しては、教育委員会や学校が、保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことが重要である一方、調査により測定できるのは学力の特定の一部分であること、学校における教育活動の一側面であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないようにするなど教育上の効果や影響等に十分配慮することが重要である。

## 1 教科に関する調査の結果（概要）

本校の結果については、表1（p3）のとおり、国語、数学の全ての調査内容で全国の平均正答率を上回っており、その差は、国語Aで+5.6%、国語Bで+6.8%、数学Aで+7.4%、数学Bで+3.9%です。この結果からは、学校全体として、基礎的・基本的な知識・技能の習得、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成について、良好な状況が見られます。

一方、平均正答率に着目すると、国語Aは83%であり、今回出題された学習内容の知識・技能を相当数の生徒が身に付けていると見られます。国語B、数学Aの平均正答率はそれぞれ79%、72%であり、国語の知識・技能を活用する力、数学の基礎的・基本的な知識・技能を更に身に付ける必要があります。また、数学Bについては、平均正答率が52%であり、今回出題された学習内容の知識・技能を活用する力に課題が見られます。

問題別の平均正答率・無解答率について、本校と全国とを比較すると表2のとおりとなります。

平均正答率の比較では、国語、数学の全ての調査内容で、全国平均を上回る問題数が下回る問題数よりも多くなっています。特に、国語Bについては、全ての問題で全国平均を上回っています。一方、数学Bについては、15問中6問（40%）で全国平均を下回っている状況も見られます。

また、無解答率については、国語、数学の全ての調査内容で、0%の問題が半数以上を占めるとともに、無解答率が全国よりも高い問題数はわずかです。生徒たちが、最後まで粘り強く考え、解答を書こうと努力した状況が見られます。

今後、間違えた問題を解き直して、定着できていない内容について、授業や家庭学習で振り返りの学習を行うことが大切です。

【表1】教科に関する調査結果（教科別の平均正答数・平均正答率）

	国語A (32問)		国語B (9問)		数学A (36問)		数学B (15問)	
	平均正答数 (問)	平均正答率 (%)	平均正答数 (問)	平均正答率 (%)	平均正答数 (問)	平均正答率 (%)	平均正答数 (問)	平均正答率 (%)
城田中	26.5 /32	83	7.1 /9	79	25.8 /36	72	7.7 /15	52
三重県	24.6 /32	77 +6	6.4 /9	71 +8	23.5 /36	65 +7	7.1 /15	47 +5
全国	24.8 /32	77.4 +5.6	6.5 /9	72.2 +6.8	23.3 /36	64.6 +7.4	7.2 /15	48.1 +3.9

※各教科の問題数は、国語Aが32問、国語Bが9問、数学Aが36問、数学Bが15問であり、平均正答数は、生徒が正解した問題数の平均です。

※平均正答率は、平均正答数を問題数で割った値をパーセンテージで表しています。

※本年度は、学校及び都道府県の平均正答率は、整数で表されました。

※各欄における「+」「-」を付けた数値は、城田中学校の平均正答率との差を表しています。

【表2】問題別の平均正答率・無解答率の状況（本校と全国との比較の状況）

	全国の平均正答率・ 無解答率との比較	国語A (32問)	国語B (9問)	数学A (36問)	数学B (15問)
平均正答率	全国を上回る	26問(81%)	9問(100%)	33問(92%)	9問(60%)
	全国を下回る	6問(19%)	—	3問(8%)	6問(40%)
無解答率	0% (全員が解答)	25問(78%)	5問(56%)	22問(61%)	9問(60%)
	全国を上回る	2問(6%)	—	2問(6%)	1問(7%)

※上の表は、問題別の平均正答率・無解答率を、本校と全国とで比較した結果を示しています。

※各欄の数値は問題数（割合）を表しています。割合は、小数第1位を四捨五入しています。

## ＜今後の取組＞

今回の調査で明らかとなった生徒の「頑張り」を更に伸ばすとともに課題を克服するため、学校では、引き続き、次のような指導の充実・改善を図ります。

◆「基礎的・基本的な知識・技能の習得・定着」については、授業での「めあて」の提示や「振り返り」の時間確保、繰り返し指導や個別指導、習熟の程度に応じた指導などの充実に、引き続き、学校全体で取り組みます。また、家庭学習の内容や見届け・励ましの充実について教職員間で共通理解を図るとともに、家庭と連携して予習・復習などの学習習慣を身に付ける取組を進めます。

◆「知識・技能を活用するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成」については、「日常生活の事象の解決に、知識・技能を活用して考える指導」、「文章と図やグラフなどを関係付けて、自分の考えをまとめる指導」、「根拠を明らかにして筋道を立てて説明したり書いたりする指導」などを行います。そのため、授業での教材の工夫や指導方法の改善、グループ学習や発展的な学習の充実、少人数指導や教師間の協力的な指導の充実などの取組を進めます。

## 2 生徒に対する質問紙調査の結果（概要）

- ◇質問事項は、学習意欲、学習方法、生活習慣等に関する94項目です。
- ◇回答は、各質問事項について「①当てはまる」「②どちらかといえば、当てはまる」「③どちらかといえば、当てはまらない」「④当てはまらない」などの段階的な選択肢から選ぶ形になっています。
- ◇各質問事項に対する本校生徒の「肯定的な回答」（上記①②など）について、全国や三重県のものと比較するなどの分析を行いました。本校の特徴的な状況は、次のとおりです。
  - ※数値は、本校の「肯定的な回答」の割合です。（ ）内の数値は、「肯定的な回答」の割合の本校と全国との差で、「+」は本校が全国を上回っていること、「-」は本校が全国を下回っていることを表しています。

### ○学習に対する関心・意欲・態度については、国語は良好であり、数学に課題が見られる。

- ・国語の勉強は大切：92.7%（+3.9）、国語の授業の内容はよく分かる：90.9%（+16.0）
- ・数学の勉強は大切：72.7%（-8.4）、数学の授業の内容はよく分かる：63.6%（-5.8）

### ○言語活動に関する学習状況では、考えや意見を話したり、聞いたりすることは良好である。また、説明したり、文章に書いたりすることについては、更に身に付ける必要がある。

- ・1・2年生の授業で、発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう工夫していた：76.4%（+18.5）
- ・話し合う活動では、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていた：87.2%（+13.7）
- ・400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しい：58.2%（-4.3）
- ・自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しい：61.9%（-0.9）

### ○指導方法に応じた学習状況では、授業の初めに示される目標や、授業の最後に行われる学習内容を振り返る活動を意識し、それらをノートに書く活動が良好に進められている。

- ・授業の中で目標が示されていた：94.5%（+6.7）
- ・振り返る活動をよく行っていた：90.9%（+24.8）
- ・授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていた：94.6%（+14.3）

### ○学習習慣では、家庭での学習時間、自分で計画を立てた勉強については、全国と同程度であり、更に身に付ける必要がある。家での予習・復習については、いずれも全国を下回っており、課題が見られる。読書については、相当数の生徒が好きと回答しており、平日の読書時間も全国を上回っている。

- ・家で1日当たり2時間以上勉強する [平日]：36.3%（+0.9）、[土日]：41.8%（全国と同じ）
- ・家で自分で計画を立てて勉強をしている：50.9%（-0.6）
- ・家で学校の授業の予習をしている：20.0%（-11.7）、復習をしている：43.7%（-6.8）
- ・読書は好き：85.5%（+15.6）
- ・平日の読書時間（1時間以上）：25.4%（+11.4）

### ○学校生活では、「みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある：89.1%（+3.1）」「学校に行くのは楽しい：78.1%（-2.8）」と回答している生徒が全国と同程度である。

### ○基本的な生活習慣では、朝食の摂取状況については相当数の生徒が良好である一方で、就寝・起床の習慣、テレビ等の視聴、テレビゲームの実施、携帯電話やスマートホンの利用の状況については、いずれも全国と比べて課題が見られる。基本的な生活習慣を更に身に付けることが大切である。

- ・朝食を毎日食べる：92.7%（-0.5）
- ・毎日同じくらいの時刻に寝ている：67.3%（-8.3）、起きている：89.0%（-3.4）
- ・平日、1日当たり1時間以上、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりする：91.0%（+11.8）
- 同、テレビゲームをする：85.4%（+26.4）
- 同、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする：54.6%（+4.2）

### ○家庭でのコミュニケーションでは、家の人と学校での出来事について話をする回答している生徒の割合が全国平均を下回っている。65.5%（-8.8）

### ○地域との関わりでは、地域の行事への参加については全国を上回っているものの、地域社会のボランティア活動への参加については全国を下回っている。

- ・今住んでいる地域の行事に参加している：56.4%（+14.3）
- ・地域社会などでボランティア活動に参加したことがある：29.1%（-20.6）

### ○自尊意識では、相当数の生徒が、良好な状況を身に付けている。

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある：100%（+5.3）
- ・難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している：83.7%（+12.7）
- ・自分には、よいところがあると思う：74.6%（+3.9）

### ○規範意識では、相当数の生徒が、良好な状況を身に付けている。

- ・学校の規則を守っている：98.2%（+3.0）
- ・人が困っている時は進んで助けている：94.6%（+10.2）
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う：96.3%（+3.5）
- ・人の役に立つ人間になりたいと思う：92.7%（+0.8）